

FUSION™ R400Q

クアッドインターフェース対応4ドライブ搭載シリアルATAラックマウントストレージシステム

ユーザーガイド



USB 1.1 & Hi-SPEED
USB 2.0
READY



For
Windows

Creativity Stored Here™

SONNET™
SIMPLY FAST™
www.sonnettech.com

Fusion R400Q仕様と機能

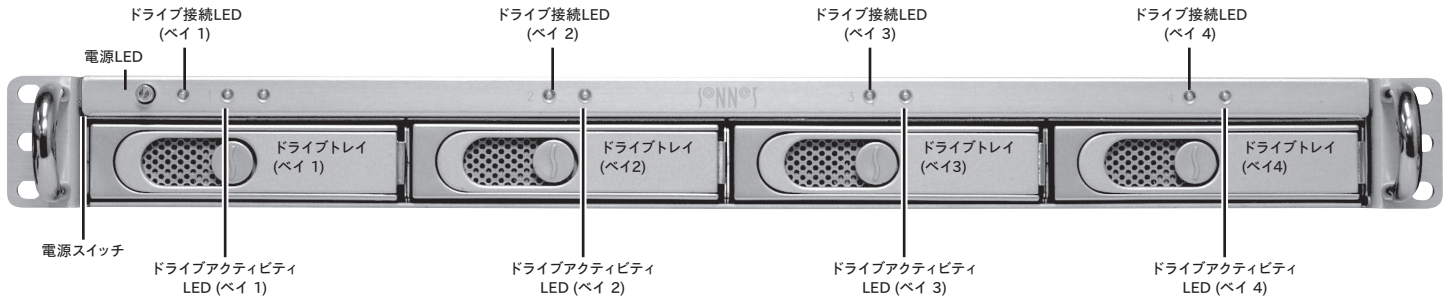


図 1

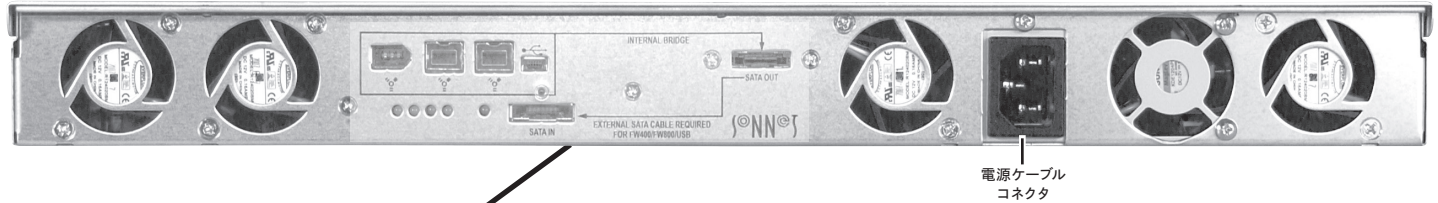
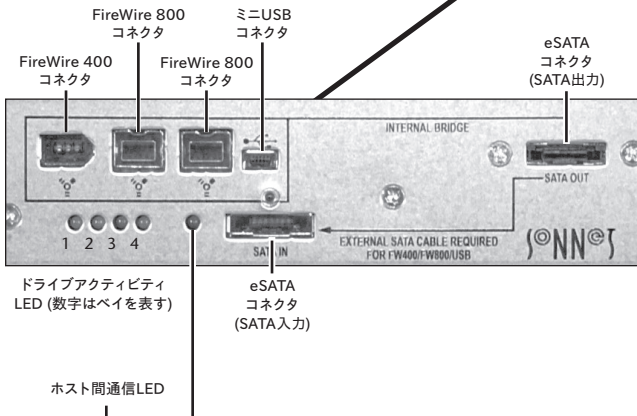


図 2



仕様

互換性	対応インターフェース搭載のMac®、Windows®、Linux®コンピュータに対応
インターフェースコネクタ	eSATA、2x FireWire 800、FireWire 400、Mini USB
対応ドライブ	3 Gb/秒および1.5 Gb/秒シリアルATA
データ転送速度	最大220 MB/秒、使用するインターフェースと設定による
対応OS	プラットフォーム非依存
電源	100~240V、50~60Hz
動作時温度	0°C~35°C
寸法 (幅×奥×高)	43.8 x 41.9 x 4.4cm
重量 (ドライブ搭載時)	9.6 kg
製品と付属品	ディスクエンクロージャ、3.5インチドライブモジュール4基、裏面粘着式のゴム足4個、電源コード、15cm (6インチ) 長eSATAケーブル、2メートル長eSATAロック式ケーブル、2メートル長FireWire 800ケーブル、2メートル長FireWire 400ケーブル、2メートル長USBケーブル、ユーザーガイド

安全上の注意と免責事項

安全上の注意

作業を開始する前に必ずこの項をよくお読みください。この注意事項では、身体の安全を守り、本デバイスの損傷の可能性を最低限に抑えらるよう、製品の正しく安全な使用方法を説明しています。

警告

取り扱いを誤ると、感電やショート、火災、その他発生する可能性のある危険により死亡または重傷を負うおそれがありますので、常に以下の基本的な注意事項を守ってお使いください。以下の注意事項が挙げられますが、これに限定されるものではありません。

- ユーザが扱える部品の交換以外は、決してエンクロージャの分解や改造を試みないでください。正常に動作していないように思われる場合は、製品をお求めになられた正規代理店または販売店までお問い合わせください。
- エンクロージャやドライブトレイを落下させたり乱暴に扱うと故障の原因になりますので、取り扱いの際には充分ご注意ください。
- エンクロージャ内部に指や異物を差し込まないでください。特に小さなお子様がいるご家庭ではご注意ください。
- 本デバイスを雨にさらしたり、水の近くや隙間にこぼれる恐れのある液体が入っている容器の近くで使用したり、湿気が高いまたは濡れた状態で使用しないでください。
- 異臭や異音、煙などが本デバイスから生じた場合や誤ってデバイスを濡らしてしまった場合は、直ちに電源を切り、コンセントからプラグを抜いてください。
- 必ずこのマニュアルに記載の手順に従ってください。ユーザガイドに記載されていない情報が必要な場合は、製品をお求めになられた正規代理店または販売店までお問い合わせください。

免責事項

WindowsでRAIDボリュームを作成する:

WindowsでRAIDボリュームを作成するにはダイナミックディスクストレージが必要です。ダイナミックディスクはWindows Server 2008 R2、Windows Server 2003 SP1、Windows 7 Professional、Enterprise、Ultimate (32ビット、64ビット版)、Windows Vista Enterprise、Ultimate版 (32ビット、64ビット版)、Windows XP Professional (32ビット、64ビット版) で可能なフォーマットオプションです。

2TB以上のRAIDボリュームの作成は、以下のいずれかを満たす必要があります。

- ボリュームの連結 (仮想チェーンで互いにリンク) を行ない、NTFSでフォーマットする。
- GPTフォーマットを行なう。注意としては、GPTフォーマットのドライブとボリュームはWindows XP Professional、Windows Server 2003 SP1 32ビット版では不可視となります。

免責事項

ドライブの使用について:

ソネットテクノロジーズ社では、下記に挙げるハードドライブをFusion R400Qストレージシステムに指定しています。特にRAIDグループの利用時におけるドライブの卓越したパフォーマンス性とエラーハンドリング性、そして信頼性でこのドライブは選ばれました。これらのドライブと一般的なハードドライブとの重要な違いの1つは、エラー時の対応の速さにあります。一般的なハードドライブではエラーのリカバリーに数分かかるのに対し、これらソネットにて検証済みのEnterprise/RAIDエディションのドライブではたった数秒のうちにリカバリーを試みます。RAIDコントローラカードとソフトウェアRAID構造では、ドライブにエラーが発生した際に、そのドライブがすぐにRAIDグループから切り離されてしまうため、ハードドライブメーカーでは、RAIDストレージシステムで一般的なハードドライブの使用を推奨していません。ソネットにて検証済みのハードドライブは、ストレージの信頼性を左右する耐振動性能についても強化されています。システムの信頼性およびパフォーマンス性を確保するため、Fusionストレージシステム製品のご利用には、Enterprise/RAIDエディションのハードドライブまたは厳選されたソネット検証済みのデスクトップ用ハードドライブでの構築をお勧めします。一般的なハードドライブはサポートされていないものもあり、システムの信頼性と性能が低下する可能性があります。Sonnetウェブサイトにて、検証済みハードドライブの最新情報を確認してください。

500GB モデル

- Hitachi 製 Deskstar E7K500 (製品型番 HDS725050KLA360)
- Hitachi 製 Ultrastar A7K1000 (製品型番 HUA721050KLA330)
- Maxtor 製 MaXLine Pro 500 (製品型番 7H500F0)
- Samsung 製 Spinpoint F RAID (製品型番 HE5021J)
- Seagate 製 Barracuda ES (製品型番 ST3500630NS)
- Seagate 製 Barracuda ES.2 (製品型番 ST3500320NS) ⁽¹⁾
- Western Digital 製 RE3 Enterprise (製品型番 WD5002ABYS)

750GB モデル

- Hitachi 製 Ultrastar A7K1000 (製品型番 HUA721075KLA330)
- Samsung 製 Spinpoint F RAID (製品型番 HE753LJ)
- Seagate 製 Barracuda ES (製品型番 ST3750640NS)
- Seagate 製 Barracuda ES.2 (製品型番 ST3750330NS) ⁽¹⁾
- Western Digital 製 RE3 Enterprise (製品型番 WD7502ABYS)

1TBモデル

- Hitachi 製 Ultrastar A7K1000 (製品型番 HUA721010KLA330)
- Samsung 製 Spinpoint F RAID (製品型番 HE103UJ)
- Seagate 製 Barracuda ES.2 (製品型番 ST31000340NS) ⁽¹⁾
- Western Digital 製 RE3 Enterprise (製品型番 WD1002FBYS)

1.5TBモデル

- Seagate 製 Barracuda 7200.11 (製品型番 ST31500341AS) ⁽²⁾

2TBモデル

- Hitachi製Ultrastar DK7SAA200 (製品型番 HUA722020ALA330)
- Western Digital 製 RE4-GP (製品型番 WD2002FYPS)

(1) ファームウェアバージョン SN06 以降が与えられたSeagate製 ES.2ドライブにのみ対応。ファームウェアバージョンがSN03、SN04、SN05のSeagate製 ES.2は未対応です。

(2) Barracuda製7200.11、1.5TBドライブでファームウェアバージョンがSD1B、CC1H の場合のみ対応しています。

ドライブのインストールとエンクロージャのセットアップ

1. Fusion R400Qをパッケージから取り出し、平らな場所に置きます。
2. Fusionエンクロージャをデスクトップで、または平らな場所に設置して使用する場合は、付属の脚の接着部分をエンクロージャ底面に押し付け固定してください(図3)。
3. Fusionエンクロージャをラックに設置する場合は、別売の Sonnet ラックスライドセット (または同等品) を設置してください。
 - FUS-RSS-P (奥行17~21.5インチ/43.18~54.61 cmのラック用)
 - FUS-RSS-S (奥行23~26.5インチ/58.42~67.31 cmのラック用)
 - FUS-RSS (奥行 27~30.5インチ/58.42~67.31 cmのラック用)
 - FUS-RSS-L (奥行 29~32.5インチ/73.66~82.55 cmのラック用)



参考情報：製品の搬送中にドライブモジュールの位置がずれてしまうことがあります。適切な接続にするため、エンクロージャの電源を入れる前に、各ドライブモジュールをいったん取り外し再度モジュールを装着し直してください。

4. レバーリリースボタンを押すとレバーが出てきます。続いてレバーを自分側に引くとドライブモジュールを取り出す事ができます(図4)。



警告：ドライブモジュールをエンクロージャに挿入する際、**レバーを無理に押し閉じようとししないでください**。レバーがすんなりと閉まらない場合はモジュールをいったん取り出してから再度挿入し、レバーをもう一度押し込んで挿入を試みてください。

5. ドライブモジュールをエンクロージャ内に静かにレバーが閉まり始める所までスライドさせて挿入してください。次に、レバーをカチッと音がする所まで押してエンクロージャの内にあるドライブモジュールを固定します(図5)。
6. 残りのドライブモジュールについて手順4~5を繰り返してください。
7. Fusion R400Qをラックまたはデスクトップ等設置する場所へ設置してください。



図 3

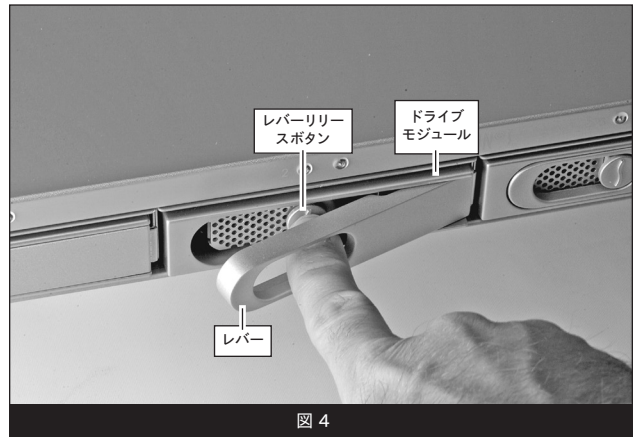


図 4

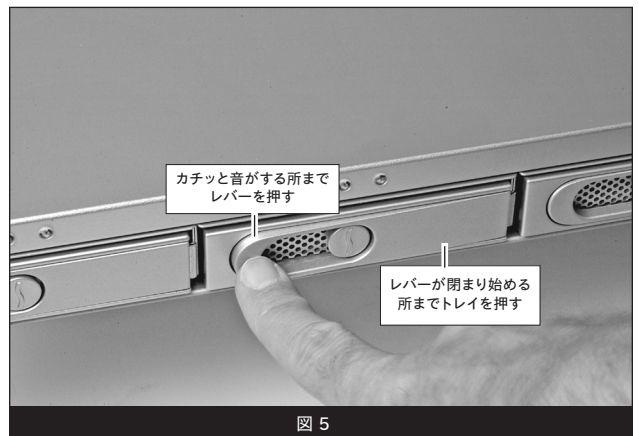


図 5

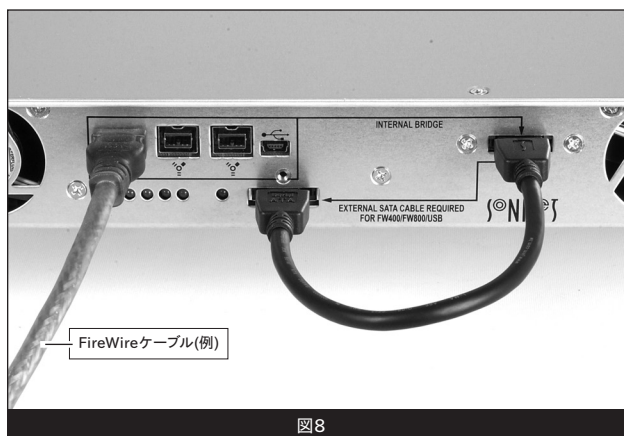
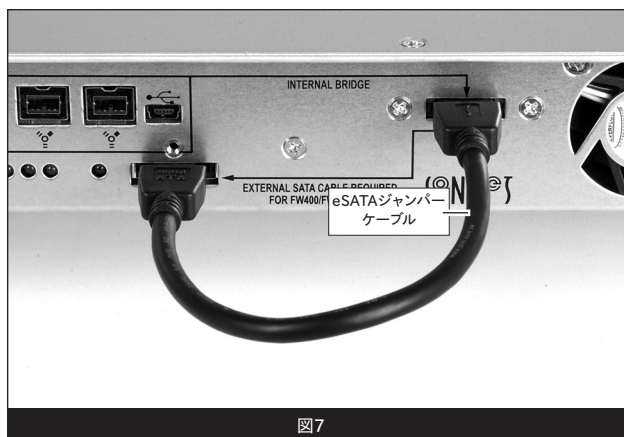
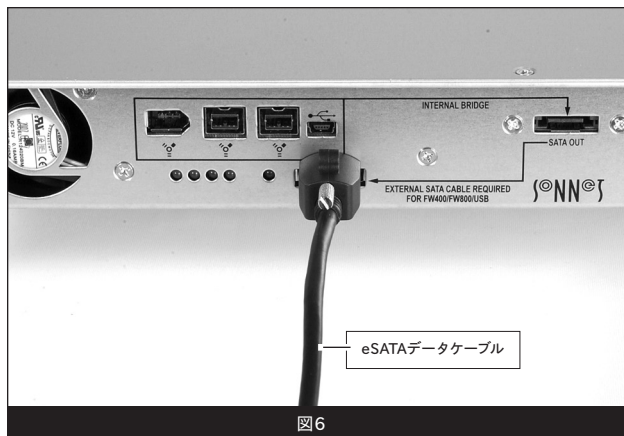
エンクロージャとホストコンピュータとの接続

Fusion R400QとSATAホストアダプタカードを接続する

このセクションでは、Fusion R400QとコンピュータのSATAホストバスアダプタカードとの接続方法について接続方法について記載しています。R400QをコンピュータのUSBまたはFireWireポートと接続する場合は、次項へ進んでください。

注意：お使いのFusion R400Qのポートの配列はガイドに示す図と異なる場合があります。

1. 付属のeSATAデータケーブルを使ってエンクロージャのSATA INポートをコンピュータのSATAホストコントローラと接続してください。しっかりと接続されていることを確認してください (図 6)。
2. 付属の電源ケーブルを使ってFusion R400Qの電源ケーブルをアースされている壁からの電源コンセントまたは電源タップと接続します。しっかりと接続されていることを確認してください。
3. エンクロージャの前面にある電源スイッチをONに入れてから、コンピュータの電源を入れてください。
4. 必要に応じてFusion R400Qにインストールされているドライブをフォーマットします。お使いになるオペレーティングシステムのソフトウェアガイドまたはヘルプの欄をご参照ください。



Fusion R400QとFireWireまたはUSBポートを接続する

このセクションでは、Fusion R400QとコンピュータのUSBまたはFireWireポートとの接続方法について記載しています。R400QをコンピュータのSATAホストアダプタカードと接続する場合は、前の項に戻ってください。**注意：お使いのFusion R400Qのポートの配列はガイドの図写真と異なる場合があります。**

1. 付属の6インチ長eSATAケーブル (約15.2センチ) でエンクロージャ背面のSATA OUT(出力) とSATA IN (入力) コネクタを接続します。 (図 7)
2. 付属のUSBまたはFireWireケーブルのうちの1本を使って、エンクロージャとホストコンピュータの適切なポートを接続します。コネクタがしっかりと接続されていることを確認してください (図 8)。
3. 付属の電源ケーブルを使ってFusion R400Qをアースされている壁からの電源コンセントまたは電源タップと接続します。ケーブルがしっかりと接続されていることを確認してください。
4. エンクロージャの前面にある電源スイッチをONに入れてから、コンピュータの電源を入れてください。
5. 必要に応じてFusion R400Qにインストールされているドライブをフォーマットします。お使いになるオペレーティングシステムのソフトウェアガイドまたはヘルプの欄をご参照ください。

製品の使用時に役に立つ情報とその他追加情報

役に立つ情報

この項ではFusion R400Qエンクロージャの使用時に役立つ一般的な情報を記載しています。

ホットスワップドライブ:

Fusion R400Qはドライブのホットスワップ*をサポートしているので、コンピュータの電源を落とさずにドライブを入れ替えることが可能です。これはドライブをいつでも取り外せるということではありません。作業中にデータを損失しないよう必ず以下の手順に従ってください。

- ドライブモジュールを外す前に、ドライブボリュームの接続解除（イジェクト、アンマウント、デスマウント）を行なってください。Mac OSの場合は、取り出したいドライブのアイコンをDockの「取り出し」（またはデスクトップの「ゴミ箱」）アイコンにドラッグしてからドライブを取り外してください。Windowsの場合は、タスクバーのイジェクトアイコンのところで左クリックして取り出したいドライブの接続を解除します*。
- RAIDセットに組み込まれているドライブモジュールをFusion R400Qから取り除く場合は、ドライブモジュールを再度挿入する前にいったんエンクロージャの電源を落としてください。モジュールを取付けてから再度エンクロージャの電源を入れます。これでRAIDセットは適切にマウントされます。

* Windows XPはSATAホストコントローラカードがインストールされたデスクトップPCまたはサーバーに接続されているドライブ（ドライブエンクロージャ）のホットスワップをサポートしません。WindowsデスクトップPCまたはサーバーをお使いの場合は、ホットスワップ機能を使うためにはFusion R400QからコンピュータのFireWireまたはUSB経由で接続する必要があります。

接続状態:

ドライブやボリュームがコンピュータに表示されない場合、またはドライブがRAIDセット構成されている際にドライブがみつかりませんというエラーメッセージが表示された場合はコネクタがしっかりと接続されていない（抜けかけている）ことが原因の場合があります。

- データケーブルをいったん取り去り、カチッと正しく接続されていることを確認しながら再度接続してください。
- **Fusion R400QがコンピュータとFireWireまたはUSB経由で接続されている場合は、付属の6インチ長eSATAケーブルを使用してエンクロージャ背面にあるSATA出力 (Out) ポートからSATA入力 (IN) ポートとが接続されていない必要があります。**2基のeSATAポートがケーブルで接続されていない場合は、FireWireまたはUSB接続とハードドライブの間でデータの受け渡しは行なわれていません。
- **Fusion R400Qは1度の利用に1種類のインターフェースのみ対応** エンクロージャとコンピュータの間に一度に2種類以上のケーブルを接続しないでください。コンピュータへのダメージにはなりませんが、複数が接続されている場合は1種類のインターフェースのみ動作します。

カスタマーサービスへのお問い合わせ

本製品に関するテクニカルサポートについては、お買い上げいただいた販売店までお問い合わせください。お問い合わせいただく前に、Sonnetのウェブサイト (www.sonnettech.com/jp) から最新の関連情報やサポートファイルがあるか確認し、このユーザガイドをもう一度よくお読みください。